

平成 30 年度 第1回 スポーツ推進審議会  
(議事録)

日時： 平成 30 年 5 月 16 日 (水) 午後 3 時 00 分 ～ 4 時 45 分

場所： 中央体育館 1 階 会議室

出席委員：副会長・永田委員、小坂委員、鳥内委員、山本委員、堀委員、大久保委員

欠席委員：会長・石井委員、中村委員、蟹江委員、岡村委員、里見委員

事務局出席者：太田産業文化局長、小郷文化スポーツ部長、下野文化スポーツ部参事、田中地域  
スポーツ課長、地域スポーツ課 (係長：釘田・木村・久保、主事：日下)

傍聴者：1 名

< 議事内容 >

○ (審議事項) (ア) 関係団体に対する補助金の交付について

【事務局】

- ・ (資料に基づき説明)
1. (一財) 西宮市体育協会補助金について

[副会長]

- ・ 事務局より説明があったが、ご質問等があればお願いしたい。
- ・ ご質問がなければ、拍手で承認をお願いしたい。

【一同拍手で承認】

- ・ 補助金の交付手続きを進めることを承認する。

○ (報告事項) (イ) 地域スポーツ課関係報告

【事務局】

- ・ (資料に基づき説明)
1. 平成 29 年度事業実施報告
  2. スポーツクラブ 21 関係報告
    - (1) 平成 29 年度スポーツクラブ 21 関係事業実施報告
    - (2) 平成 29 年度西宮市「スポーツクラブ 21 ひょうご」運営等基金報告
  3. 平成 29 年度施設利用状況報告

< 質疑応答 >

- 平成 29 年度西宮市「スポーツクラブ 21 ひょうご」運営等基金報告について  
(委員：市民公募)

- ・ 原資は県の補助金ということだが、基金を使い切っている団体がある一方で、基金残高がかなり残っている団体もある。使用状況にかなりの差があるが、市民に説明する際に誤解を生まないか。
- ・ 県民としては税金の使われ方を確認したい。この基金の会計情報を見ることができるのか。

**【事務局】**

- ・ 会費収入で運営費を賄っている団体もあり、そのような団体は基金を使用していない。基金を取崩している団体は、台風等で破損した備品の買替などで使用する場合がある。
- ・ 市からは公開していない。会計情報を県には報告しているので、県の情報公開請求等の手続きになるものと想定される。

[副会長]

- ・ 事務所等の設備が整っていなかった団体はそこに基金を使って、もともと設備を持っていた団体は使わなかった。40 団体中まだ 8 団体に基金が残っている。使い方を理解していない団体もあるのではないかと。是非いい方向で使っていけるように、丁寧な説明をしていく必要がある。

**【事務局】**

- ・ 市としては団体ごとの方針を尊重するようにしている。自分たちの世代で使い切らないという考えの団体もある。原資は県民の税金であり、県も市もどんどん使ってくださいという指導はしていない。

[委員：市民公募]

- ・ 市はスポーツクラブ 2 1 に補助金は出していないのか。また原資の県補助金の額は一地区あたりどの程度か。

**【事務局】**

- ・ スポーツクラブ 2 1 の地区運動会等の補助金は出しているが、基金には出していない。県補助金は一地区あたり 500 万円程度。事務所整備などが必要だった団体は 500 万円より多くもらっている。

[副会長]

- ・ いずれにせよ、この基金は使い切るという趣旨ではなく、有効利用していく方向で丁寧に指導していく必要がある。

< 質疑応答 >

○平成 29 年度施設利用状況報告について

**【副会長】**

- ・ 各施設の稼働率は平均で 50%以上となっているが、会議室などを除いた運動施設の稼働率について、目標値を設定した上で、市民の有効利用を図っていく必要がある。是非広報の仕方を工

夫していただきたい。

[委員：スポーツ関係者（生涯スポーツ）]

- ・ 西宮交流フェスティバルに自分も参加しており、良い事業だと認識している。さらに参加者を増やすために、さらに広報を充実させてほしい。

**【事務局】**

- ・ 広報の時期や場所についてはさらに工夫していきたい。

○ （報告事項） （ウ）学校教育課関係報告

（資料）

#### 1. 学校体育関係事業報告

<質疑応答>

[副会長]

- ・ 学校教育課は別の公務で欠席している。意見ご要望があれば事務局で預かって後日回答してもらおう。何か意見はあるか。
- ・ ないようなので、次の議題に移る。

○ （報告事項） （エ）スポーツ推進計画後期計画策定および市民アンケート結果について

**【事務局】**

- ・ （資料に基づき説明）

#### 1. スポーツ推進計画後期計画策定に伴う市民アンケートの分析・報告

<質疑応答>

[副会長]

- ・ 「する」「みる」「ささえる」を大テーマにしてやっていくということ。運動体力と身体的体力との棲み分けについて、政策に盛り込んでもらえたらよいと思う。特に高齢化社会となっているわけなので、健康体力の維持についての視点を欠かさないようにお願いしたい。

[委員：市民公募]

- ・ アンケートの設問で「はじめてみたい種目」について聞いているが、結果をもとに新体育館の再整備で何か検討されていることはあるか。ヨガ・ピラティスなど。

**【事務局】**

- ・ 地区体育館ではヨガ・ピラティスなどは多目的室などで自主事業としてやっている。新体育館はできるだけ多くの競技種目ができるようにしたい。施設や設備、事業の内容など両輪でやっていく必要がある。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

- ・ 大学生をもっと活用した方がよい。

**【事務局】**

- ・ 市内には大学が多いので、場合によっては来ていただくこともありうる。

[委員：市民公募]

- ・ 高齢者でたとえば武道などで一定レベルの人材はいるのか。それを活用できないのか。

**【事務局】**

- ・ 体育協会の中に各種目別の協会があり、指導者はいる。そのなかで武道などは子供向けの教室をやっているが、子供が集まりにくいという問題もある。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

- ・ 子供は、特に小学生は武道をもっと経験させてあげた方がよい。小さい頃に色々な競技を経験できることが重要。途中でやめてもいいので、続けることより多種目を経験することの方が大事。

[副会長]

- ・ 国も格技を広げていっているが、効果が出るまでもう少し時間がかかると思う。武道は危険度も高いため敬遠されることがある。

**【事務局】**

- ・ 小学生・幼児向け体操教室などは人気がある。そこからサッカーとかバスケットなどメジャーな競技にはつながっていくかもしれないが、武道は難しい。武道場で教室をやっているので広報等の工夫が必要。

[委員：市民公募]

- ・ アンケートの設問を作るときに、2020 東京オリンピック・パラリンピックの新規種目は入れる入れないの検討はしたのか。たとえばボルダリングなど。

**【事務局】**

- ・ 種目は前回調査と比較できるように継続性を持たせたのと、笹川スポーツ財団のデータを参考にして決定した。

[委員：市民公募]

- ・ 西宮中央運動公園再整備に盛り込むことはできるのか。

**【事務局】**

- ・ 西宮中央運動公園再整備はP F I 事業であるため、要求水準書をに沿った上で民間の提案によって内容が決定する事業である。市が特別必要だと考えれば要求水準書に載せることもある。そのスポーツが、市としてどういう位置づけかどうかで決まる。

[副会長]

- ・ このメンバーでは最後の審議会となる。何でも構わないので、委員の方々から一言ずつ意見を頂戴したい。

[委員：学識経験者]

- ・ 事務局の計画案は堅いように感じる。市民向けにはもうすこし興味を引くような、見てもらえるような形でできないか。また、市が何をやりたいのか、自分たちの答えたことがどう反映されているのかをわかりやすく伝えてほしい。たとえば、市としては国際競技力の向上に力を入れないのであれば、「みる」に特化するなど、もっと焦点をあてるものを決めた方がよい。

[委員：スポーツ関係者（生涯スポーツ）]

- ・ 子供から大人まで見て楽しめるパンフを作る必要がある。

[委員：市民公募]

- ・ 障害者スポーツの観点からは、西宮市はボッチャなど障害者スポーツ用設備を体育館に置いており、他市の体育館にはない先進的な環境ではあると思う。「障害者」という垣根を設けるわけではなく、だれもが親しめるスポーツを展開して行ってほしいので、計画はもっと平易な表現にされたい。

**【事務局】**

- ・ 本計画は本編と概要版に分かれるため、概要版は子供向けにして読みやすくするのも一つの方法。こういった形態で市民の方に公表していくのか、これからの審議会等でご意見をいただきたいと考えている。

[委員：市民公募]

- ・ 市の目玉スポーツは何と考えているのか。または目玉スポーツはなくて良いと考えているのか。市の方針を教えていただきたい。

**【事務局】**

- ・ 「みる」スポーツでいえば、西宮ストークスを誘致しているため、プロバスケットボールとなる。一方、「する」スポーツの観点からは、地域スポーツ、広く市民の方々に親しんでいただけるようなスポーツ環境が望ましいと考えている。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

- ・ 西宮の小学生はオリンピック種目全部体験できるようにすれば、売りになる。小中学校のス

スポーツに勝ち負けのある全国大会は不要。自分に合ったスポーツを探す時期であってほしい。

[副会長]

- ・ アメリカの小学校は、子供たちにできるだけ多くの種目を経験させる工夫をしている。小学校体育やクラブ活動でも、先生が指導するばかりではなく、指導できる人がいなければ、外部の専門家を呼んできて経験させるなどあっていいのではないか。

○ その他

[副会長]

- ・ 今後のスケジュールについて事務局より説明されたい。

**【事務局】**

- ・ 新体育館・新陸上競技場の整備に関する基本計画及びスポーツ推進計画の後期計画策定などで、審議会や作業部会でご意見を頂戴したい。そのうえで、スポーツ推進計画後期計画は今年度3月までに策定となる。

[副会長]

- ・ それでは引き続き、必要に応じて作業部会を招集していただき、その際には審議会委員として積極的なご発言をお願いしたい。また、現審議会委員の任期が5月末までなので、これで最後となる。長期間にわたって審議していただき、お礼を申し上げます。それでは本日の審議はこれにて終了とする。

以上